



自由研究・生きものの観察・ 採集での使い方

見つけた生きものを、その場で地図に残していくアプリです。写真・日時・場所が自動で一緒に残るので、あとから「いつ・どこで・何を見たか」を並べ直せます。

対象バージョン 1.0.8

場所を 1 つ置いて、行くたびに記録を足すだけ。

マップセット

近所の川の生きもの

1 冊のノート。

テーマごとに 1 つ作ります。

ポイント（場所）

動かない場所。地図に出るのはこれだけ



上流の橋の下

調査地点 / 番号 01



学校裏の雑木林

調査地点 / 番号 02



庭のカキの木

目撃多発地点 / 番号 03

記録

「上流の橋の下」に積み上がっていく出来事

7/20 09:12

目撃・発見

アメンボ 12



7/27 09:05

目撃・発見

アメンボ 3 / 前日に雨



8/03 09:20

メモ

1 ぴきもいなかった

ピンをタップすると、その場所の記録が時間の順に並びます。同じ場所に通う自由研究なら、行くたびに記録を足すだけで、その場所の変化がひとりでに 1 本の記録になります。

3 ステップで、はじめられる。

むずかしい設定はありません。テーマを決めて、場所を置いて、見つけたら記録する。それだけです。

1 マップセットを作る

テーマを 1 つ決めて、その名前で。

近所の川の生きもの

わが家の庭に来る虫

〇〇山の山菜マップ

コツ

テーマは 1 つに絞る。あれもこれも入れると、まとめるときに散ります。



2 場所を置く

観察する場所に着いたら、
「+」 → ポイントを追加。



**位置は「現在地」を
押すだけ**

地図でピンを動かして微調整もできます

コツ

場所は 1～3 か所まで。増やすと
通りきれなくなります。



3 記録する

ピンをタップ →
「+記録を追加」。

日時は「今」、記録者は自分が
最初から入っています。

写真を撮って、名前と数を入れれば 1 件。

コツ

名前が分からなくても記録する。
写真が残るので、あとで直せます。

置ける場所は、9 種類。

毎回かならず見る場所、虫がよく出る木、採りに行く斜面。通う場所をそのまま地図に置けます。

調査地点

毎回かならず見る場所。**定点観察の基本はこれです。**番号を振ると、次の年も同じ場所として並べられます。

目撃多発地点

その生きものがよく出る場所。庭のカキの木、夜の街灯の下、花壇のまわりなど。

痕跡地点

足あと・巣・食べあとが見つかる場所。**本体に会えなくても記録は残せます。**

採集ポイント

山菜・キノコ・昆虫などを採る場所。分類と数量、採ったときの天気まで残せます。

釣りポイント

川や池の観察地点。魚・貝はサイズも一緒に残せるので、大きさの変化を追えます。

外来種対応地点

外来種が定着している場所。見つけた記録を積み上げると、広がり方が見えます。

被害地点

荒れている場所、食べられた木、ゴミが捨てられた場所など、気になったところ。

危険・注意地点

ハチの巣・急な斜面・深み。**家族や仲間への注意書き**として共有すれば全員の地図に出ます。

その他

集合場所、駐車した場所、入口、トイレの場所など。必要な場所は何でも置けます。

場所には、次に来る自分へのメモも残せる。

ポイントに入れられること

タイトル	場所の呼び名（上流の橋の下、学校裏の雑木林）
位置	「 現在地 」を押すだけ。地図で微調整も可
写真	その場の様子。1 件につきプランに応じて 1～10 枚
説明	行きかた、気をつけること、観察のコツ
ポイント番号	0～999。定点番号として使えます
色	14 色から選べます
登録者	既定は自分。共有中はメンバーから選べます
URL	最大 5 件。図鑑のページや調べたサイトを紐づけ

色の決め方の例

「川は青、林は緑、家のまわりは黄色」。地図を開いた瞬間に、どこを見ている記録かが分かります。班で分かれて調べるときは、班ごとに色を決めるのも手です。

目 説明欄の使いかた

「橋の左側から降りる」「長ぐつが必要」「9 時より前は日かげ」など、次に来たときの自分が助かることを書いておきます。家族と共有していれば、みんなに届きます。

📍 写真は「引き」で 1 枚

場所の写真は、まわりが分かるように引いて撮っておくと、次に来たときに同じ位置に立てます。生きものの写真は記録側に付けます。

番号は前の年と揃えておく。「01 上流の橋の下」を毎年同じ番号にしておくと、去年と今年を並べて見られます。

見つけたものは、カテゴリを選んで 1 件に。

カテゴリを選ぶと、入れる項目が変わります。**基本**の欄だけ埋めれば 1 件になります。**詳細**は書きたいときだけで大丈夫です。

目撃・発見

いちばん使います。名前は自由に書けるので、鳥も虫も植物も同じように残せます。数と行動、天気まで一緒に。

痕跡

足あと・食べあと・抜けがら・巣。**生きものがいた証拠**を、新しさや大きさと一緒に残せます。

採集

山菜・キノコ・魚・貝・昆虫・植物・鉱物を、同じ 1 つのカテゴリで。数量と単位、採りかたも残せます。

外来種駆除

外来種の防除に参加したときに。対象種と数量、処分のしかたまで残せます。

被害

木が折れていた、ゴミが捨てられていた。現地で起きたことと、その原因の見当を残せます。

メモ

どれにも当てはまらないこと。「今日は 1 ぴきもいなかった」**もここ**。日時と写真と一緒に残ります。

名前が分からなくても記録してください。「たぶんアメンボ」でも「黒い甲虫」でも構いません。写真が残るので、家に帰って図鑑で調べてから名前を直せます。分からないまま残しておくこと自体が、あとで調べる手がかりになります。

鳥も虫も植物も、同じ形で残せる。

基本の欄

種別（名前） 自由入力（アメンボ、カブトムシ、タンポポ）

数 数値

状況・
行動メモ 複数行。気づいたことをその場で

「基本」の 3 つだけで 1 件になります。現地では無理に全部埋めなくて構いません。

👁 数の数えかた

正確に数えられないときは「10 以上」ではなく、**数えられた分だけ**入れて、メモに「まだいたが数えきれず」と書きます。あとで比べるときに、条件が揃います。

詳細の欄（書きたいときだけ）

性別 ☐ オス ☐ メス ☐ 不明

成獣・幼獣 ☐ 成獣 ☐ 幼獣 ☐ 不明

距離 (m) 数値

行動 ☐ 採餌中 ☐ 移動中 ☐ 警戒 ☐ 休息 ☐ その他

天候 ☐ 晴れ ☐ 曇り ☐ 雨 ☐ 雪

天候を毎回入れておくと、あとで効きます。「雨の次の日は数が減る」といった気づきは、天気と数が並んで初めて見えてきます。

本体に会えなくても、いた証拠は残せる。

基本の欄

痕跡の種類

足跡

糞

食痕

爪痕・角研ぎ

ぬた場

獣道

寝屋

羽毛・毛

抜け殻・脱皮痕

死骸

その他

推定種

自由入力。「〇〇かも」と残して構いません

身近に見つかる痕跡

セミの抜けがら、木の幹の食べあと、葉に空いた穴、鳥の羽根、土の上の足あと。本体より痕跡のほうが見つけやすいので、自由研究のテーマとしても成り立ちます。

詳細の欄

鮮度

新しい

数日前

古い

不明

数

数値

推定サイズ

自由入力

メモ

複数行

大きさが分かるものを一緒に写す。 定規がなければ、硬貨や自分の手を横に置いて撮ってください。あとから並べて比べられます。

同じ場所で続けて残すと、季節の動きが並びます。 「4 月は抜けがら 0、7 月は 12」のように、同じピンの下に時間の順で積み上がります。

山菜も魚も昆虫も、ひとつのカテゴリで。

基本の欄

分類 山菜 キノコ 木の実 魚 貝 昆虫 植物 鉱物
その他

採集物 自由入力（ワラビ、ヤマメ、カブトムシ）

数量+単位 数値 + 個 本 株 kg g 匹 尾 点

サイズ (cm) 分類が「魚」「貝」のとき基本の欄に上がります

採った量を毎回残しておくと、その場所の「採れかた」が見えます。採りすぎを自分で止める目安にもなります。

詳細の欄

採集方法 手摘み 釣り 網 掘り取り 採掘 その他

状態 鮮度・品質

天候 晴れ 曇り 雨 雪

メモ 複数行

食べるつもりなら

キノコと山菜は、似た形の毒のあるものが必ずあります。写真を残しておけば、あとから詳しい人に見てもらえます。少しでも迷ったら食べないでください。

必読 採る前に、次のページの「採るときのきまり」を必ず読んでください。場所と生きものによって、採ってよいかどうかが決まっています。

採るとききのまりは、自分で確かめる。

KARURECO は記録の道具で、採ってよいかどうかは判断しません。採集には場所ごと・生きものごとにルールがあります。

その土地は誰のものか

私有地・社寺林は許可なく入れません。**田畑のあぜ道も私有地です。**山林にも必ず持ち主がいます。

保護区ではないか

国立公園・国定公園の特別地域、自然環境保全地域、鳥獣保護区などは採取が制限されます。

その種は採ってよいか

絶滅危惧種・天然記念物・特定の水産動植物は、**採取そのものが禁止**されています。

時期や大きさの決まり

魚や貝は都道府県の漁業調整規則で、期間・サイズ・使ってよい道具が決められています。

川で釣るなら遊漁券

多くの川は漁協の管理区域です。**釣る前に遊漁券が要ります。**売っている場所も漁協が決めています。

持ち出してよいか

外来種は**生きたまま運ぶこと自体が禁止**の場合があります。その場で放すのも禁止です。

注意 分からないときは、採らずに写真と記録だけ残すのがいちばん安全です。写真と位置が残っていれば、自由研究としては十分に成り立ちます。**このアプリを、採ってよい場所を探す道具として使わないでください。**

記録より先に、その場所と自分の身を守る。

採るときのマナー

採りすぎない。次の年も出るように、その場所の分を残す。
根こそぎ採らない。山菜は根を残す、キノコは菌糸を傷めない。
踏み荒らさない。群落の中に入らず、縁から観察する。
ゴミは持ち帰る。記録より先に、そこの状態を変えない。
入る前に断る。人の土地なら、ひと声かけてから。

目 記録が残るということ

KARURECO には日時と位置が残ります。ルールを守った記録は自分を守る証拠になり、守らなかった記録は証拠になってしまいます。

迷ったら、採らずに写真だけ。判断がつかない場面では、これがいちばん確実です。

安全のために

- ハチ・ヘビ** 黒い服を避ける。やぶに手を入れない。足元を確認してから踏み出す
- 暑さ** 夏の昼間は避けて、朝か夕方に。水分を必ず持つ
- 水辺** 増水は急に来ます。雨のあとの川に入らない。ライフジャケットを着る
- 迷子・転落** 尾根や沢筋は電波が届きません。行き先と帰る時間を家の人に伝えてから
- ひとりで行かない** 子どもだけで山や川に入らない。必ず大人と一緒に
- 電池** 地図と写真で早く減ります。予備を持つ
- 服装** 長そで・長ズボン・帽子。足元は歩きやすいものを

「いつ・どこで・何を」が、自動でそろう。

自由研究で先生に見せるときに、いちばん効くところです。あとから思い出して書く必要がありません。

1 件の記録

7月20日 09:12 / 上流の橋の下 / アメンボ 12 / 記録者 わたし



写真

プランに応じて 1～10 枚。
長押しで並び替えできます。
まとめのときに、そのまま
使えます。



日時

既定は「今」。家に帰って
から入れるときは、
観察した日時に直せます。



場所

ポイントの位置が
そのまま残ります。

地図の上で、記録どうしの
位置関係が見えます。



記録者

既定は自分。共有中は
メンバーから選べます。

班で分けても、誰が
見つけたか残ります。



URL

最大 5 件。調べた図鑑
ページを付けられます。

出典を残しておくと、
まとめが強くなります。

通りすがりのものは、場所を作らずに 1 件だけ。

クイック記録

出しかた	ホーム中央の「+」 → クイック記録
位置	現在地が自動で入ります （地図で微調整も可）
入力項目	ポイントから作るときと同じ（位置の欄が増えるだけ）
地図の 見え方	小さな円 で出ます（ピンとは形で見分けられます）
あとから	ポイントに昇格 ／近くのポイントに 紐づけ

その場では止まらずに、あとで整理する。 歩いている途中で立ち止まって場所を作らなくて済みます。

使い分け

歩きながらはクイック記録、通う場所はポイント。「また来る場所」かどうかを、その場で決めなくて構いません。家に帰ってから、繰り返し出てくる場所だけポイントに昇格させれば十分です。

こんなときに

通学路でセミの抜けがらを見つけた。散歩の途中で知らない花が咲いていた。旅行先で見たことのない虫がいた。とりあえず 1 件残しておけます。

昇格させる目安

同じ場所で 2 回以上記録したら、ポイントにしてしまうのがおすすめです。以後はその下に記録が積み上がって、変化が読めるようになります。

圏外でも、そのまま記録できる。

圏外でできること

ポイントも記録も、電波が届かない場所でそのまま作れます。作成・編集・削除はオフラインで完結します。

電波が戻ると**自動で送信**され、共有しているメンバー全員に届きます。送信のタイミングは、起動したとき・アプリに戻ったとき・電波が戻ったとき・手動の「今すぐ同期」です。

圏外で撮った写真も端末に保存されます。 オンラインに戻ってから送られるので、その間は他のメンバーには写真が見えません。

送信できたか確かめる

未送信の件数は、**設定タブのバッジ**と**マイページの「同期」**で確認できます。帰り道や家に着いてから、バッジが 0 になっているかを見る習慣をつけてください。

オンラインで やること

招待コードの発行・受諾／メンバーの権限変更／マップセットからの退出／プロフィールの同期

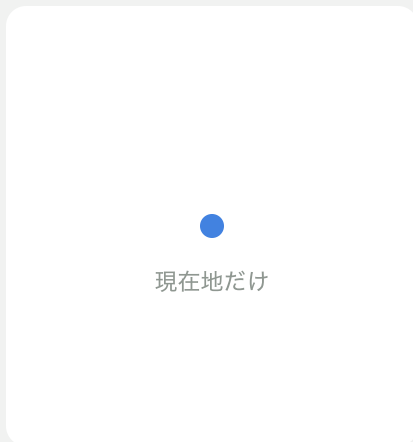
山に入る前に、招待だけ済ませておく。 現地で「メンバーを追加しようとしたら電波がない」というのが、いちばん困る場面です。

注意 送信が終わる前にアプリを削除すると、未送信分は失われます。帰ってから、バッジが 0 になるまではアンインストールしないでください。

地図は、先に取り込んでおく。

圏外では、事前に取得していない範囲の地図は真っ白になります（現在地は出ます）。

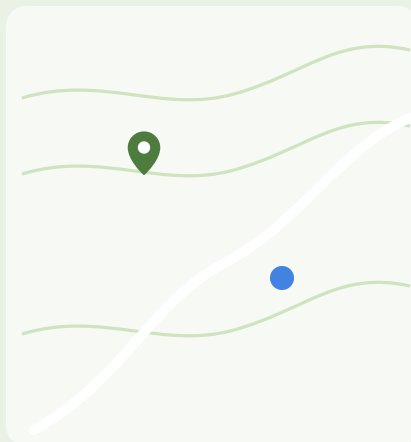
取得していない範囲



現在地だけ

地形も道も出ません

ダウンロード済みの範囲



地形も道も、置いたピンも見えます

↓ 取り込みかた

地図画面のメニュー → 「エリアダウンロード」。範囲と最大ズームを決めて開始します。通信量と時間がかかるので、**Wi-Fi のある場所で、出発前に済ませてください。**

1 回のダウンロード上限

無料 / ライト 300 タイル
スタンダード

プレミアム 1,500 タイル

最大ズームを 1 段上げると、同じ面積でもタイル数は約 4 倍。 「入る場所だけ細かく、周りは粗く」が基本です。回数を分ければ範囲は広がられます。

前の日の夜に、次の日に歩く範囲をまとめて取り込んでおくと安心です。

家族や仲間と、同じ地図を見る。

共有のしかた

追加	招待コードで。1 マップセットにつき 200 人まで
権限	見るだけの人・書ける人を分けられます
記録者	誰が見つけたか、記録に残ります
有効期限	招待コードは発行から 3 日

招待の受け渡しは電波のある場所で。 現地に入る前に済ませておいてください。

班で分けるとき

同じ記録を 2 人が同時に直したときは、**あとから届いたほうが残ります。** 班ごとに場所や担当を分けておくのが安全です。

位置情報の扱いに気をつける

記録には**正確な場所が残ります。** 共有する相手は選んでください。

希少な 生きもの	場所を不特定多数に見せない。盗掘や乱獲につながります
家・学校の 近く	生活範囲が分かってしまいます。 SNS にそのまま載せない
子どもが 使うとき	共有相手を保護者が確認してください

提出するときは、必要なら地名をぼかす。 「〇〇川の上流」ではなく「近所の川」としてまとめる方法もあります。研究の中身は変わりません。

続けられる進め方は、この形。

「同じ場所で、季節でどう変わるか」は、いちばん続けやすいテーマです。

STEP 1

テーマを決める

季節で変わるものは
続けやすいテーマです。

「川の生きもの」
「庭に来る虫」など。

STEP 2

場所を 1～3 か所

増やしすぎると
通えなくなります。

近くて安全に行ける
ところを選びます。

STEP 3

同じ条件で通う

同じ曜日・同じ時間に。
条件を揃えると
比べられます。

天気も毎回入れます。

STEP 4

行くたびに記録

何も見つからなかった
日も「メモ」で残す。

写真は必ず 1 枚。
同じ向きで撮ります。

STEP 5

並べて見る

ピンをタップすれば
記録が時間の順に
並びます。

気づいたことを書く。

見つからなかった日を残すのがコツです。 「7/25 くもり 1 ぴきもいなかった」も立派な結果で、あとで気温や天気と並べたときに意味が出ます。ゼロの日を消してしまうと、その意味が読めなくなります。

数えなくていい。書き出して、そのまま使う。

分析ダッシュボード（スタンダード以上）

期間やカテゴリで絞って集計できます。書き出せるのは **CSV / PDF / 画像**。CSV は写真を同梱した ZIP でも出せます。書き出した表は、そのまま模造紙やレポートの資料に使えます。

月ごとの観察件数

場所ごとの記録数

見つけた種類の数

誰が何件記録したか

無料プランでも自由研究はできます。 書き出しは使えませんが、記録はすべて残るので、まとめるときはアプリの画面を見ながら書き写してください。

1 マップセットに入る量（全プラン共通）

ポイント 500

記録 3,000

共有メンバー 200 人

夏休み 1 回分なら、無料プランでも十分に足ります。

目 分けかたの目安

テーマで分ける → 「川の生きもの」「庭の虫」

年で分ける → 「近所の川 2025」「近所の川 2026」

場所の呼び名と番号を前の年と揃えておく。 同じ定点として、去年と今年を並べて見られます。

まちがえて消しても、もどせます。

● 1 件がこの端末にだけ残っています

確認

最近削除した項目

削除から 30 日以内なら戻せます



モリアオガエルがいた場所

ポイント ・ 削除 8/3 21:03 ・ あと30日

戻す

モリアオガエルがいた場所

最終更新 お父さん ・ 8/3 14:20

まちがえて消しても 30 日以内ならもどせる

観察した記録を消してしまっても、30 日以内なら「最近削除した項目」からもどせます。

ほかに変わったこと

家族で同じ地図を直せる

編集できる人にしておけば、誰が入れた記録でも直せます。写真の追加も両方残ります。

「最終更新 ○○」で誰が直したか分かる

家族や仲間と共有しているときだけ出ます。ひとりで使うときは出ません。

保存できなかったら赤い帯で知らせる

うまく保存できなかったとき、理由が分かります。書いた内容は消えません。

やることは、3 つだけ。

- 01 通う場所にポイントを置く。位置は「現在地」を押すだけ。
- 02 見つけたら記録を 1 件。名前が分からなくても、写真を撮って残す。
- 03 見つからなかった日もメモで残す。それも結果です。

出かける前に、地図のエリアダウンロードだけ済ませておく。

あとは圏外でも記録は残り、電波が戻れば家族や仲間にも届きます。写真と日時と場所が一緒に残るので、まとめるときに思い出す必要がありません。

採集をするときは、その場所と生きもののきまりを必ず自分で確かめてください。

迷ったら、採らずに写真だけ残す。それがいちばん確実です。